



本学は、積極的に勉学・研究に取り組む意欲のある方、社会で活躍中の研究者・技術者など、専攻分野にとらわれず、幅広く学生を受け入れています。

また、能力主義による開かれた大学を目指して、優秀な学生に関しては、修業年限に関係なく博士学位を授与するなど、修業年限の弾力化に積極的に取り組むとともに、修了時において学業優秀な学生を選考し表彰(「最優秀学生賞」)しています。

こうした本学のオープンでハイレベルな研究教育環境により、本学を巣立つ学生は、優秀な研究者として、また産業界が求めるハイレベルな人材として、社会で幅広く活躍しています。

開かれた環境 先端研究を支える

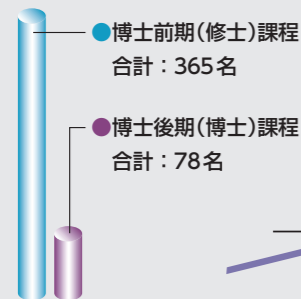
●アドミッションポリシー

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力をもった学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲をもった者を積極的に受け入れます。



入試概要

- 試験は主に面接により実施。
- 博士前期(修士)課程は1年間に3回入試を行います。
- 秋学期入学の入試も実施します(博士前期(修士)課程は情報科学研究科のみ実施)。
- バイオサイエンス研究科及び物質創成科学研究科の博士前期(修士)課程1回目の入学者選抜試験は、東京会場でも受験できます。
- 願書等の出願書類を本学ホームページからダウンロードできます。
(URL: <http://www.naist.jp/>)



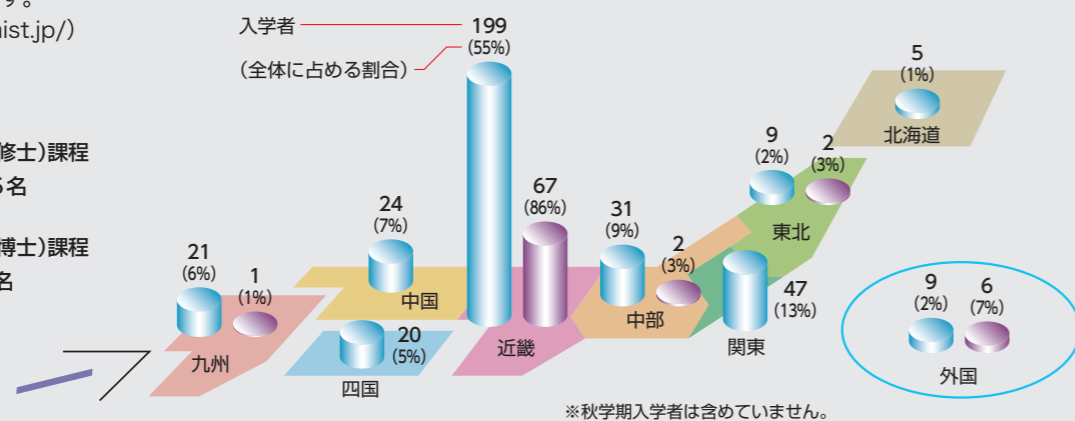
入学定員・収容定員・現員

(単位:名)

研究科名	入学定員		収容定員		現 員						合 計	
	博士前期(修士)課程	博士後期(博士)課程	博士前期(修士)課程	博士後期(博士)課程	博士前期(修士)課程			博士後期(博士)課程				
					1年	2年	計	1年	2年	3年	計	
情報科学研究科	146	43	292	129	148	161	309	39	36	58	133	442
					(14)	(20)	(34)	(4)	(3)	(10)	(17)	(51)
バイオサイエンス研究科	114	34	228	102	122	116	238	42	19	45	106	344
					(45)	(48)	(93)	(15)	(5)	(13)	(33)	(126)
物質創成科学研究科	90	30	180	90	99	99	198	25	17	19	61	259
					(10)	(17)	(27)	(6)	(3)	(3)	(12)	(39)
合 計	350	107	700	321	369	376	745	106	72	122	300	1,045
					(69)	(85)	(154)	(25)	(11)	(26)	(62)	(216)

※()は、女性を内数で示す。 ※現員数には、秋学期入学者を含む。(平成21年4月1日現在)

平成21年度入学者の出身大学・大学院などの地域



入学時に必要な学費

【平成21年度】
 入学料 282,000 円
 授業料 535,800 円 (半期分 267,900 円)
 (注)入学時及び在学時に学生納付金の改定が行われた場合には、改正時から新たな納付金額が適用されます。

修業年限の弾力化(短期修了)

本学は、修業年限の弾力化を図るため、標準修業年限は、博士前期課程は2年、博士後期課程は3年ですが、優れた研究実績を修めた者は、博士前期課程は1年以上の在学で、博士後期課程は博士前期課程と合わせて3年以上の在学で短期修了することができます。

■平成20年度短期修了者数

博士前期課程	博士後期課程	総計
353名中 8名(2%)	78名中 20名(26%)	431名中 28名(6%)

※()内は短期修了者の占める割合

入試イベント

[大学全体及び各研究科イベント]

- 平成21年5月30日(土)
受験生のためのオープンキャンパス2009
- 平成22年2月~3月(予定)
NAISTサイエンスフェスティバル
スプリングセミナー(情報科学研究科)
大学生インターンシップ
(バイオサイエンス研究科)
公開研究業績報告会&ミニ体験入学会
(物質創成科学研究科)

[学生募集説明会]

本学では、5月及び9月を中心に東京、大阪、名古屋等全国各地で、入学者募集に関する説明会を行っています。関心のある方は是非参加してください。事前申し込みは不要で、当日は本学教員からの説明のあと質疑応答も行います。



[いつでも見学会]

各研究科では、本学への受験を考えている方、興味のある方に個別の研究室見学会をいつでも受け付けています。学生募集説明会、オープンキャンパスなどに参加できなかった方、もっと詳しく研究内容について知りたい方は、いつでもご相談ください。



- 詳細は、ホームページをご覧ください。
<http://www.naist.jp/>

学 生

Students

学生支援

本学では、毎年、大学院教育・研究活動支援体制の強化や適切な学生生活支援のために、多大な財源を投入して、学生への経済支援体制を整備・充実しています。

大学院教育・研究活動支援	対象者1人当平均支援額
ティーチング・アシスタント(TA)	18万円
リサーチ・アシスタント(RA)	45万円
グローバルCOEプログラム	65万円
海外派遣支援	20万円
特待生制度	54万円
日本学術振興会特別研究員研究奨励金	226万円
日本学術振興会特別研究員研究奨励費(科研費)	66万円

※上記支援額は、平成20年度における本学在学学生に対する経済支援の概算数値

学生宿舎

大学内に619戸(学生数の約60%)の学生宿舎を用意。単身用のみならず夫婦用、家族用も用意し、社会で活躍中の研究者、技術者にも配慮しています。また、**全室に学内LANを完備**し、宿舎からも電子図書館や国内外の学術研究機関へのアクセスが可能となっています。**駐車場は敷地内に249台分**(利用希望者の約75%、約3,000円/半年)あるほか、大学隣接の公営駐車場を同額で利用できる制度をとっています。

また、UR都市機構住宅(旧公団住宅)に一般より有利な条件での入居ができる支援も行っています。

TA制度・RA制度

●ティーチング・アシスタント(TA)

学生が講義資料の作成補助、レポートの採点補助、実験の指導補助などに従事し、指導・教育方法を学ぶ。

対 象：博士前期(修士)課程2年以上の学生
採用実績：332名(平成20年度)
待 遇：時給1,234円～

●リサーチ・アシスタント(RA)

研究プロジェクトに研究補助者として参画し、学術研究の一層の推進を図る。

対 象：博士前期(修士)課程及び博士後期(博士)課程の学生
採用実績：123名(平成20年度)
待 遇：時給1,234円～

学位授与状況(平成20年度実績/大学累計)

研究科	学位区分	修士学位			博士学位		
		工学	理学	バイオサイエンス	工学	理学	バイオサイエンス
情報科学		147 (6)	7 (1)		30 (8)	3	
バイオサイエンス				104			21
物質創成科学		81 (1)	14		14 (8)	10 (4)	
大学累計		2,703 (127)	266 (9)	1,570 (2)	463 (155)	84 (19)	290 (11)

※()内は短期修了者数を内数で示す。



学生生活支援	対象者1人当平均支援額
入学科免除	14万円
授業料免除	15万円
学生宿舎(民間賃貸料との差)	73万円
日本学生支援機構奨学金(第一種)	115万円
日本学生支援機構奨学金(第二種)	102万円

■学生宿舎の種類

	単身用	夫婦用	家族用
居室数	559室	50室	10室
居室面積	13㎡	36.98~41.45㎡	51.56㎡
寄宿料(共益費込)	月額 10,000円	月額 12,500円~ 13,000円	月額 15,300円

※単身用の浴室は共用(個室)。トイレは居室内にあり。

※水光熱費は入居者負担

■学生宿舎の入居者数(平成21年4月1日現在)

博士前期課程	博士後期課程
178名 (61%)	16名 (100%)

※()内は入居率(入居者/入居希望者)

奨学金

●日本学生支援機構奨学金(旧日本育英会奨学金)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人のお願いに基づいて選考のうえ、貸与される。

●その他の奨学金

文部科学省私費留学生奨励費などの奨学金制度に採択されている。

■日本学生支援機構奨学金

	入学時貸与月額など	
	第一種奨学金 ^{※1} (無利子)	第二種奨学金(有利子)
博士前期(修士)課程	次の受給額から選択 50,000円・88,000円	次の受給額から選択
博士後期(博士)課程	次の受給額から選択 80,000円・122,000円	5・8・10・13・15万円
前年度入学者貸与者	204名(83%) ^{※2}	74名(100%)

※1 第一種奨学金は、在学中に特に優れた業績を挙げたと認定された場合、学資金の全部または一部の返還が免除される制度がある。

※2 ()内は貸与率(貸与者/貸与希望者)。追加・臨時採用を含む平成20年度最終実績